



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月8日

上場取引所 東

上場会社名 エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
コード番号 3682 URL <http://www.et-x.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石井 進也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 川島 久男

TEL 03-5623-2622

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	871	—	162	—	162	—	109	—
28年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)包括利益 29年3月期第2四半期 110百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 100百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	31.57	—
28年3月期第2四半期	—	—

(注)1. 平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率について記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	3,299	—	2,647	—	—	80.2
28年3月期	—	—	—	—	—	—

(参考)自己資本 29年3月期第2四半期 2,647百万円 28年3月期 100百万円

(注)平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成28年3月期の数値については記載しておりません。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,870	—	390	—	395	—	260	—	75.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成29年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
 新規 1社 (社名) 株式会社アクロテック、除外 1社 (社名)  
 (注)詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	3,462,100 株	28年3月期	3,462,100 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	34 株	28年3月期	34 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	3,462,066 株	28年3月期2Q	3,449,805 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成29年3月期第1四半期より連結決算に移行しました。  
 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
(4) 追加情報	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っていません。

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、円高と消費低迷により低成長の横ばい状態が続きました。

当社グループの主要顧客先である金融業においては、2月に導入されたマイナス金利政策の影響で、銀行業での利ザヤ縮小による減益や保険会社の資金運用への影響が顕在化しました。このため、日銀短観(9月調査)の金融業のソフトウェア投資額は前回調査比修正率が小幅にとどまり、信用金庫や保険業では上期はマイナス修正となるなど、投資が抑制される厳しい状況となりました。

このような状況のもと当社グループは、製品開発では、既存製品「ESS AdminControl (EAC) Ver1.4」の改良・機能拡張に取り組みました。総務省が日本年金機構の情報漏えい事件を受けて、地方自治体情報システムのセキュリティ対策として発表された「自治体セキュリティ強靱性向上」対策のひとつである「ファイル無害化」の対策ソリューションとして新製品「ESS FileGate (EFG)」の開発に着手し、発表いたしました。「EFG」は、インターネット接続環境からメールやインターネットを経由して取得したファイルについては、ウイルスなどに感染されていない無害化された状態で自治体ネットワークに持ち込む必要があり、このファイル無害化のソリューションを提供するものです。「EFG」は、11月末リリースに向け開発を進める一方、地方自治体など公共機関向け事業に関して株式会社電算との協業で合意しております。

営業面においては、金融業以外の業種への拡販を図るため、ガートナー・ジャパン株式会社主催「ガートナー セキュリティ&リスク・マネジメントサミット2016」やSBクリエイティブ株式会社主催「セキュリティ マネジメント カンファレンス 2016 夏」等のセッションに参加して、内部不正対策と標的型サイバー攻撃に効く特権IDの管理手法について当社ソリューションの訴求をおこないました。また、自社セミナーとして当社製品を導入されているお客様向けに「活用塾」セミナーを3回にわたり開催し累計60名余の参加をいただき、システム導入後のレポート活用や監査対応など当社システムの有効な利用・活用方法を共有いただきました。

なお、当社の主力製品である「ESS REC(REC)」は、ミック経済研究所調査による「システム証跡監査ツール」市場において、7年連続シェア1位を確保し、当社製品の導入企業は490社を超えております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、下記セグメントの業績に記載しておりますパッケージソフトウェア事業におけるライセンス売上の低迷により871,269千円となりました。営業利益は定期採用及び中途採用による人員増と処遇改善、確定拠出年金制度の導入など福利厚生施策に伴う人件費増加、研究開発部門での派遣技術者受入費用の増加などにより売上原価及び一般管理費が増加したことにより162,854千円、経常利益は162,983千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は109,311千円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。当社グループは、ソフトウェアのライセンス売上に紐づく保守サポートサービス、導入・構築のコンサルティングサービスなどのパッケージソフトウェア事業の単一セグメントでしたが、第1四半期連結会計期間より、株式会社アクロテックを連結の範囲に含めたことに伴い、同社をシステム開発サービス事業として新たに追加し、セグメント別の開示を行っております。

#### ①パッケージソフトウェア事業

当第2四半期連結累計期間におけるライセンス売上は、

1. 主要顧客先である金融機関においてマイナス金利による収益低下の影響から投資抑制や計画延期の動きがみられたこと
2. 企業のセキュリティ投資が標的型サイバー攻撃対策にシフトし、一部代理店においては標的型サイバー攻撃対策製品に特化した販売促進を行ったことなどから、システム証跡管理や特権ID管理製品への投資が先送りもしくは最小限の投資に留まる傾向がみられたこと
3. 契約件数は増加している反面、大型案件が減少したことなど1契約当たりの単価が減少したことなどの傾向がみられました。

このため、保守サポートサービス売上等の増加がありましたが、ライセンス売上が計画を下回りましたため、セグメント売上高は752,095千円(前年同期比は単体決算のため参考となりますが1.39%増)となりました。セグメント利益は、定期採用及び中途採用による人員増や社員の処遇改善や確定拠出年金制度の導入など福利厚生施策に伴う人件費増加や研究開発費などの次の成長に向けた投資に着手したことにより売上原価・販売費及び一般管理費が増加し355,934千円となりました。

ライセンス売上につきましては、企業や公共団体の標的型サイバー攻撃による外部侵入対策として出口対策・入口対策が優先され、その対策製品の導入が優先されているため一時的な影響を受けているとみております。システム管理の視点からは多層防御が必要であり、内部対策として個人情報や顧客情報を管理する重要サーバーへの侵入を防ぐアクセス管理やシステム操作の監視、操作証跡の記録と点検等が不可欠となります。システム証跡管理製品の「REC」や特権IDアクセス管理製品「EAC」、「ESS AdminGate (EAG)」はこうした内部対策に有効であり、これら製品の属する「システム監査証跡」市場、「特権ID管理」市場とも拡大が見込まれているものであります。(ミック経済研究所2015年調査)

②システム開発サービス事業

当第2四半期連結累計期間におけるシステム開発サービス事業は、ほぼ計画どおりに進捗いたしました。当初目的であります業務連携につきましても、株式会社アクロテックから当社研究開発部門への人材投入を開始いたしました。セグメント売上は119,174千円、セグメント利益は3,066千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における報告セグメント販売実績

(単位：千円)

報告セグメントの名称		当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)	(参考情報) 前第2四半期累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
ライセンス		225,002	302,046
	うちESS REC (REC)	145,912	224,775
	うちその他ライセンス	79,090	77,271
保守サポートサービス		401,390	329,993
クラウドサービス		13,204	5,146
コンサルティングサービス		59,836	53,786
SIO常駐サービス		30,366	28,441
その他		22,294	22,376
パッケージソフトウェア事業 計		752,095	741,791
システム開発サービス事業		119,174	—
合 計		871,269	741,791

(注) 当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の単体ベース実績を参考情報として表示しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、3,299,612千円となりました。主な内訳といたしましては、現金及び預金2,861,957千円、売掛金153,719千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、652,422千円となりました。主な内訳といたしましては、前受金が435,502千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、2,647,189千円となりました。主な内訳といたしましては、資本金が507,386千円、資本剰余金が489,386千円、利益剰余金が1,650,465千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,751,840千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は329,989千円となりました。主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益162,983千円、売上債権の減少額113,292千円、前受金の増加額128,440千円、主な支出要因は法人税等の支払額132,477千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は38,353千円となりました。主な収入要因は、定期預金の払戻による収入100,000千円、主な支出要因は、開発用サーバー等の有形固定資産の取得による支出11,967千円、製品の拡張・改良に伴う市場販売目的ソフトウェアの無形固定資産の取得による支出76,186千円、連結の範囲の変更に伴う子会社株式の取得による支出50,323千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は、配当金の支払額86,551千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年10月21日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より株式会社アクロテックの株式を新たに取得したことにより、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,861,957
売掛金	153,719
その他	51,730
流動資産合計	3,067,406
固定資産	
有形固定資産	34,170
無形固定資産	41,727
投資その他の資産	156,308
固定資産合計	232,206
資産合計	3,299,612
負債の部	
流動負債	
買掛金	19,906
未払法人税等	72,202
前受金	435,502
賞与引当金	11,452
その他	83,699
流動負債合計	622,764
固定負債	
退職給付に係る負債	4,175
資産除去債務	25,482
固定負債合計	29,658
負債合計	652,422
純資産の部	
株主資本	
資本金	507,386
資本剰余金	489,386
利益剰余金	1,650,465
自己株式	△61
株主資本合計	2,647,176
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	13
その他の包括利益累計額合計	13
純資産合計	2,647,189
負債純資産合計	3,299,612



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	871,269
売上原価	347,515
売上総利益	523,754
販売費及び一般管理費	360,899
営業利益	162,854
営業外収益	
受取利息	124
受取配当金	6
雑収入	2
営業外収益合計	133
営業外費用	
雑損失	4
営業外費用合計	4
経常利益	162,983
税金等調整前四半期純利益	162,983
法人税、住民税及び事業税	63,241
法人税等調整額	△9,569
法人税等合計	53,672
四半期純利益	109,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	109,311

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益	109,311
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	1,123
その他の包括利益合計	1,123
四半期包括利益	110,434
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	110,434
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益	162,983
減価償却費	89,975
のれん償却額	2,555
受取利息及び受取配当金	△130
売上債権の増減額 (△は増加)	113,292
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	△7,051
前受金の増減額 (△は減少)	128,440
その他	△28,350
小計	461,715
利息及び配当金の受取額	752
法人税等の支払額	△132,477
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>329,989</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△11,967
無形固定資産の取得による支出	△76,186
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△50,323
その他	124
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△38,353</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
配当金の支払額	△86,551
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△86,551</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	205,084
現金及び現金同等物の期首残高	1,546,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,751,840

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額
	パッケージ ソフトウェア	システム開発 サービス	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	752,095	119,174	871,269	—	871,269
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,568	4,568	△4,568	—
計	752,095	123,743	875,838	△4,568	871,269
セグメント利益	355,934	3,066	359,001	△196,146	162,854

(注) 1. セグメント利益の調整額△196,146千円は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

P. 5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」に記載のとおり、株式会社アクロテックを連結の範囲に含めたことに伴い、パッケージソフトウェア事業の単一セグメントからシステム開発サービス事業を追加したセグメント別の開示を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

システム開発サービス事業セグメントにおいて、株式会社アクロテック株式取得に伴うのれんの発生額は25,554千円であります。